



社会的ニーズに積極的に応え、かつ、良質な医療を目指して

ようやく暖かい季節を迎え、緑も深くなってきました。

今年の秋でときわ病院を開設して34年目を迎えることになり、当法人運営が大過なく今日を迎えることができたのは地域や関係機関などの皆さまのお陰であり、心よりお礼申し上げます。

当法人は、「人間にとって最も至高なものは、人間そのものである。どのような疾病や障害があろうとも、人はその存在価値において全く平等であり、等しくその人間性が尊重される。」という理念のもと、精神科医療および障害福祉事業に努めて参りました。

ご承知の通り、社会問題となっている3万人を超える自殺の背景にあるうつ病、また、重い精神・心理的症状を伴う認知症疾患、そして自閉症やアスペルガー症候群など小児期からの広汎性発達障害などが著しく増加しております。他方、これら精神疾患の治療も外来などでの地域医療を中心とし、入院治療が必要な場合でも可能な限り短期入院により地域生活に戻ることができるように医療の質を高めることが、社会のニーズとなっております。

当法人ではこれらのニーズにより一層応えるために、医師や看護師などの専門職種を増員するとともに、急性期病棟を救急・急性期病棟へリニューアルし、また、認知症病棟も治療の質を高めるために病棟機能の高度化を図りました。同時に、

認知症患者が比較的落ち着かれ退院した後も継続的な地域医療とケアを行うための重度認知症デイケアを本年度中に実施する予定です。さらに一昨年秋から、西区に就学前児童を主な対象とする発達

障害クリニックを開設し、早期診断とともに障害児リハビリと児童デイケアを実施しております。統合失調症を中心とする障害者が、地域で生活支援を受けながら自立していくための事業も、更に拡大・充実していく計画です。

私どもは、入院医療、地域医療の充実とともに、障害のある方たちが地域社会でともに生活をエンジョイできるように支援していこうと努力しております。地域の皆さま方のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



理事長 花井 忠雄

新任医師のご紹介



木村 光隆 (きむら みつたか)

本年4月よりときわ病院で精神科医療を担当させていただくことになりました木村光隆と申します。

これまでは道内各所を転勤してまわりましたが、このたび札幌に参りまして、大都会の風景にちょっとした衝撃を受けております。社会的な背景からか精神科診療の必要性は増しているようで、日々自分の無力さを痛感しています。その中で需要にマッチした医療・福祉をコーディネートするのが私どもの役割であると考え、ごくごく微力ながら努力して参りたいと思っています。みなさま、よろしくお願い申し上げます。



笠原 理子 (かさはら みちこ)

平成24年4月からときわ病院内科に赴任しました。平成9年4月から1年間、ときわ病院に内科に勤務しておりましたので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

神経内科、内科一般、画像診断を研修して参りましたが、専門分野に囚われることなく幅広く診療させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

医師週間外来予定表

		月	火	水	木	金
内科	AM	笠原 理子	非常勤医師	笠原 理子	笠原 理子	非常勤医師
精神科	AM	畠山 佳久	宮澤 仁朗	宮澤 仁朗	吉田 拓	七戸 真
		花井 忠雄				
	吉田 拓	七戸 真	伊藤 啓介	畠山 佳久	伊藤 啓介	
	PM	花井 忠雄	木村 光隆	花井 忠雄	非常勤医師	木村 光隆

* 受付は、AM 9:00~12:00
PM 13:30~16:00 となっております。

* 土・日曜日と祝日は休診です。

はじめて受診される方へ

当院では外来診療に常時対応しますが、スムーズな対応を図るため、事前に予約のご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

初回受診予約対応窓口

医療福祉相談室 TEL. 011-591-4711

新病棟のご紹介

平成22年12月より、旧デイケア棟を解体し、新館建設工事、及び本館改修を行ってまいりましたが、平成24年3月20日に竣工いたしました。今回、紙面を借りて、ご紹介させていただきたいと思います。

新館（2階）認知症治療病棟（A病棟）



認知症で妄想・幻覚などの精神症状や家庭・施設などで処遇が困難な行動異常がある「寝たきり」以外の方々を対象とし、早期の退院を目指す病棟です。

1日あたり8名の看護師と6名の看護補助者を配置し、医療・介護・看護を行いながら、専任の作業療法士と精神保健福祉士を各1名配置し生活機能の改善を図っています。

また、重度認知症の患者様用に8床のハイケアユニット（個室・デイルー

<病室> 全48床
個室 8室（8床） ※患者様のご希望による使用の場合 使用料1,000円/日
二人部屋 16室（32床）
四人部屋 1室（4床）
観察室 1室（4床） ※合併症、重症患者さんの病室です。

本館（3階）閉鎖型精神療養病棟（B病棟）



3ヶ月以上の長期入院の方々が療養する病棟で、精神療法・薬物療法の他に社会生活に向けたリハビリテーションによって、症状の改善と安定を目指す病棟です。

1日あたり6名の看護師と6名の看護補助者を配置し、病棟専任の作業療法士及び精神保健福祉士各1名も加わり、チーム医療を展開しています。

<病室> 全60床
個室 5室（5床） ※患者様のご希望による使用の場合 使用料500円/日
二人部屋 23室（46床）
保護室 4室（4床）
P-ICU 1室（1床）
観察室 1室（4床） ※P-ICU及び観察室は、合併症・重症患者さんの病室です。

新館（3階）精神科救急病棟（C病棟）



病棟の半数以上が個室となっており、医師・看護師（1日あたり14名配置）・精神保健福祉士（PSW2名）などの人員を手厚く配置しております。ハード面の設備とソフト面のマンパワーを充実させることで、急性期症状に対する短期集中型の質の高い治療・看護を提供し、3ヶ月以内の退院を目指す病棟です。

入浴施設はプライバシーにも配慮し、複数のユニットバス方式を採用しています。

<病室> 全46床
特別室 1室（1室） ※個室使用料5,000円/日
個室 12室（12床） ※患者様のご希望による使用の場合 使用料1,000円/日
二人部屋 11室（22床）
保護室 9室（9室）
P-ICU 2室（2床） ※合併症、重症患者さんの病室です。

本館（2階）開放型精神療養病棟（D病棟）



3ヶ月以上の長期入院の方々が療養する病棟で、退院・社会復帰に向けて準備する患者さんが対象です。また、再入院の方で開放病棟での療養が可能な患者さんも対象となります。

1日あたり6名の看護師と5名の看護補助者を配置し、病棟専任の作業療法士と精神保健福祉士各1名が加わり、チーム医療を展開しています。

患者様お一人当たりの面積が広く、ゆったりとした雰囲気の中で療養していただくことができます。

<病室> 全52床
個室 2室（2床） ※患者様のご希望による使用の場合 使用料500円/日
二人部屋 23室（46床）
四人部屋 1室（4床）

新館（1階）デイケア



料理室・食堂

デイケアは、充実した日常生活を送れるようお手伝いをしていくところです。スポーツや創作活動・レクリエーションをして自立性や協調性をやしない、対人関係の改善を図り自立した生活をお手伝いします。当デイケアでは、近くに札幌芸術の森のある自然豊かな環境のもとで、さまざまな活動をしています。

○このような方々に利用していただきたいと思っています。

- ・友達をつくりたい方
- ・楽しみを見つけない方
- ・人付き合いが上手になりたい方
- ・仕事や学校へ行く準備をしたい方
- ・規則正しい生活リズムを身につけたい方…等

○活動内容

【通所日】月～金曜日までの週5日ですが、都合に合わせて調整できます。

【通所時間】午前10時から午後4時までとなります。

【ショートケア】食事をとらないで3時間以上となります。

新館（4階）作業療法室、多目的ホール



作業療法室



種目室



多目的ホール

職員や他の患者さん達と様々な作業種目を行うことで、お互いの心が開け意欲も回復します。その作業が患者さんひとりひとりにとって楽しいものであることが大切であり、多くの種目が用意されています。

陶芸・七宝・籐工芸・手芸・印刷・料理等など、四季を通してプログラムが用意されており、作業療法士と相談して選びます。

外観紹介



新館



正面



本館

編集後記

新館の建設とともに、精神科救急病棟も稼働を始めており、緊急時において迅速な対応が出来るよう、全職員が心を新たにしているところです。

さて、「ときわ病院便り」も第16号となりました。お気づきの点や、ご要望などございましたら、ときわ病院 医療福祉相談室、もしくは下記のメールアドレスまでお気軽にご連絡ください。

tokiwahp@seagreen.ocn.ne.jp

発行者

医療法人 ときわ病院

医療福祉相談室 小嶋 健二

札幌市南区常盤3条1丁目6-1

TEL 011-591-4711

FAX 011-591-0922